

# 平成 30 年度事業報告書

## I. 事業の状況

### 1) 留学生事業

#### 1. 奨学事業

##### (1) 奨学金の支給

###### 奨学金の支給

平成 30 年度「竜の子奨学生」(学部学生 5 名、大学院学生 17 名)に  
対し月額 10 万円の奨学金を 4 月から支給した。

#### 2. 交流活動事業等

##### (1) 奨学生交流会

奨学生交流会を、財団役員の出席を得て、次のとおり開催した。

日程：平成 30 年 3 月 16 日〔平成 30 年度奨学金贈呈式〕

日程：平成 30 年 8 月 4～5 日〔熱海研修旅行〕

日程：平成 31 年 3 月 13 日〔平成 30 年度卒業式〕

##### (2) 会報「竜の子奨学生」の発行

奨学生と財団間の交流に資するための会報「竜の子奨学生」第 22 号を  
平成 30 年 8 月 3 日に、第 23 号を平成 31 年 3 月 12 日に発行した。

#### 3. 平成 31 年度奨学事業関係

##### (1) 推薦依頼

平成 30 年 12 月 21 日付けで、平成 31 年度奨学生の候補者の推薦を 8 大学  
の長あて依頼した。

(推薦期限は、平成 31 年 1 月 31 日)

##### (2) 選考

平成 31 年 2 月 26 日に、選考委員会を開催した。

結果、大学院学生 9 名を選考した。この 9 名を理事長は奨学生として決定し、  
各大学に通知した

これにより、平成 31 年度奨学生数は、継続者も含め計 15 名となった。

また、平成 31 年 3 月 13 日、贈呈式及び祝賀会を開催した。

### 2) 奨学事業

#### (1) 奨学金支給

財団ホームページを通じて、選考対象となる児童の募集を行ったが、  
対象とできる児童の応募がなかったため支給はしなかった。

### 3) 助成事業

#### (1) 助成金の交付

平成 30 年 10 月 13 日～14 日にかけて行われた「勇気をもって困難に立  
ち向かっていくという精神、痛みや苦しみをこらえる忍耐」が重要な武

道であるフルコンタクト空手の NPO 法人全世界空手道連盟新極真会が開催した「第 50 回全日本空手道選手権大会」に助成を行った。このイベントには、竜の子奨学生およびそのOB達も参加した。

## II. 処務の概要

### 1. 会議等に関する事項

#### (1) 理事会・・・【第1回】乃至【第3回】

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 30 年 6 月 15 日 【第 1 回】	1. 平成 29 年度事業報告及び計算書類並びにこれらの付属明細書の承認について 2. 評議員会招集の件	全会一致で承認・可決  全会一致で承認・可決
平成 30 年 6 月 28 日 【第 2 回】	1. 理事長及び常務理事の業務執行報告について	全会一致で承認・可決
平成 31 年 3 月 13 日 【第 3 回】	1. 平成 31 年度事業計画および収支予算について	全会一致で承認・可決

#### (2) 評議員会・・・【第1回】

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 30 年 6 月 28 日 【第 1 回】	1. 平成 29 年度の事業報告および収支決算について	全会一致で承認・可決

### 2. 寄付金に関する事項

受取寄附金 8,890,000 円

全額財団事業費及び管理費として寄附金を受領した。

## III. その他の事項

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。